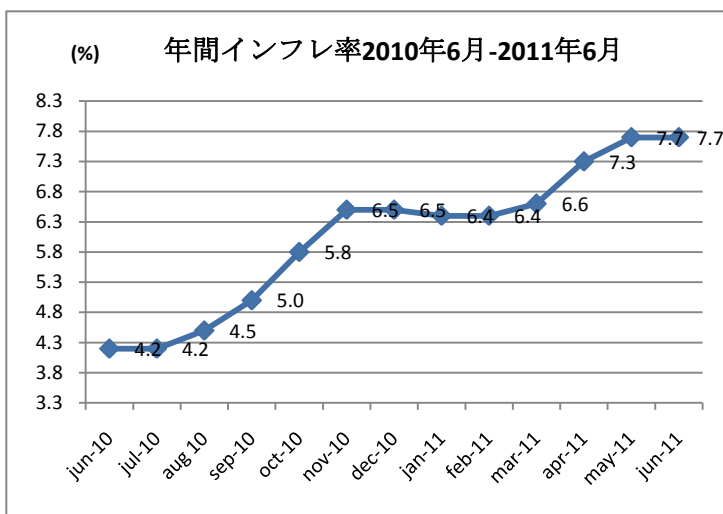
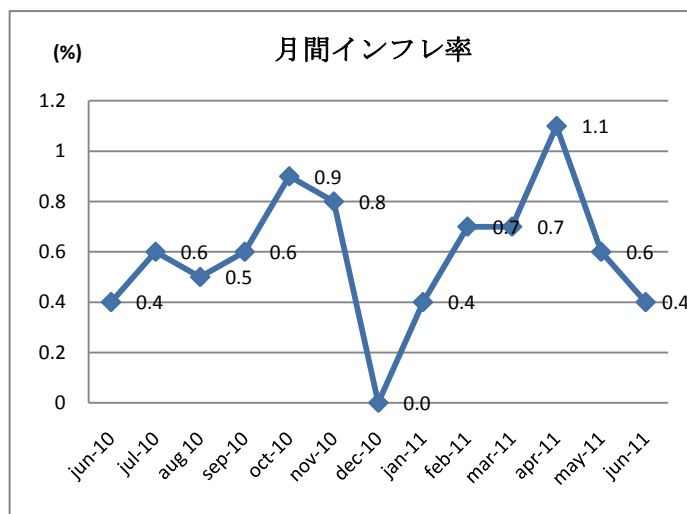


2011 年 5-6 月経済統計（出典:ホンジュラス中央銀行）

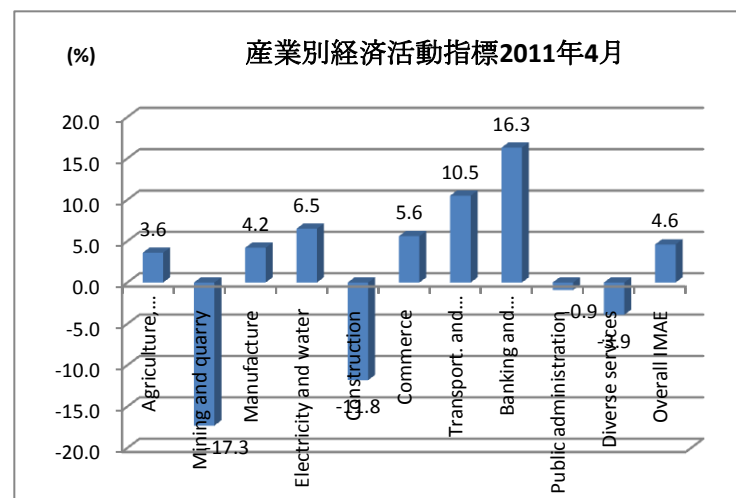
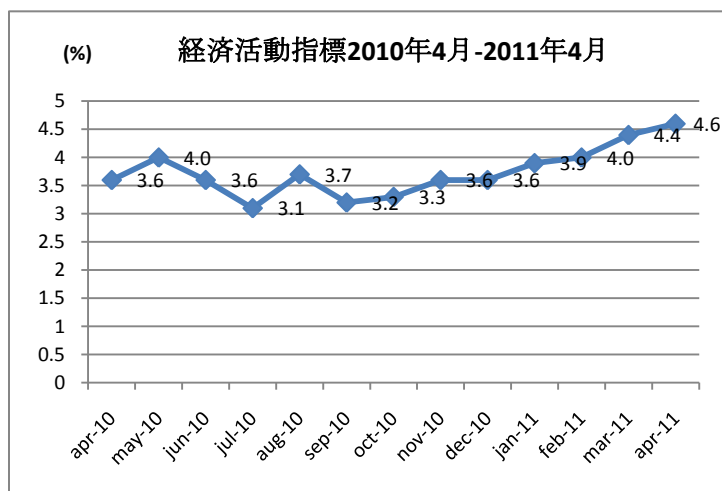
1. インフレ率

2011 年 5 月期のインフレ率は 0.6%、6 月期は 0.4%。2010 年 6 月から 2011 年 6 月の年間インフレ率は 7.7%であった。食料品価格上昇がインフレ率上昇に最も影響した。



2. 月間経済活動指標

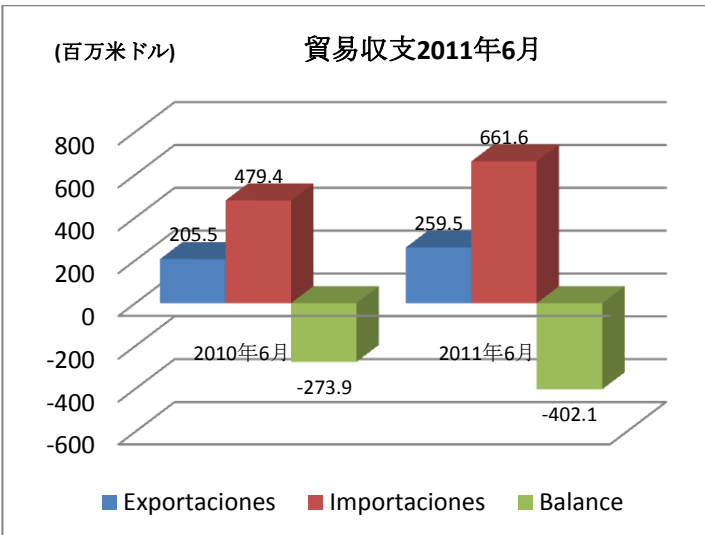
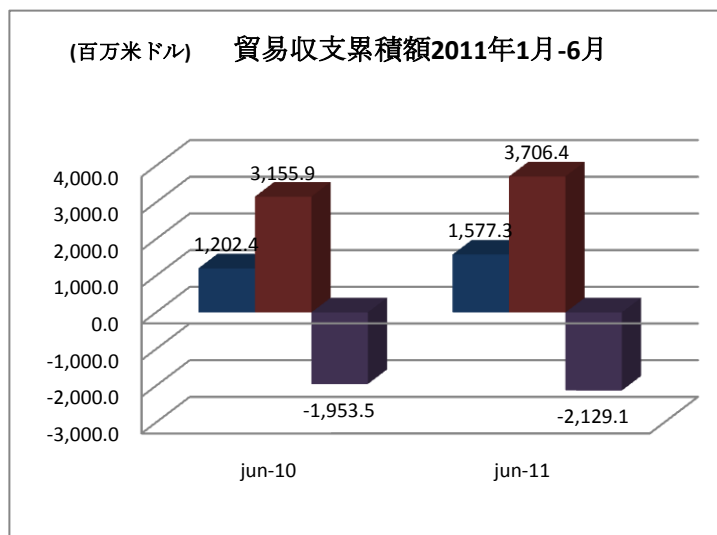
2011 年 4 月期の経済活動指標は、昨年同期比 4.6%増となった。分野別では、銀行 16.3%、運輸・通信 10.5%、貿易 5.6%と各々前年同期比増となった。これは、融資の増加及び携帯電話業界の活況による。他方、建設業 11.8%、鉱工業 17.3%は前年同期比減となっている。



3. 貿易収支

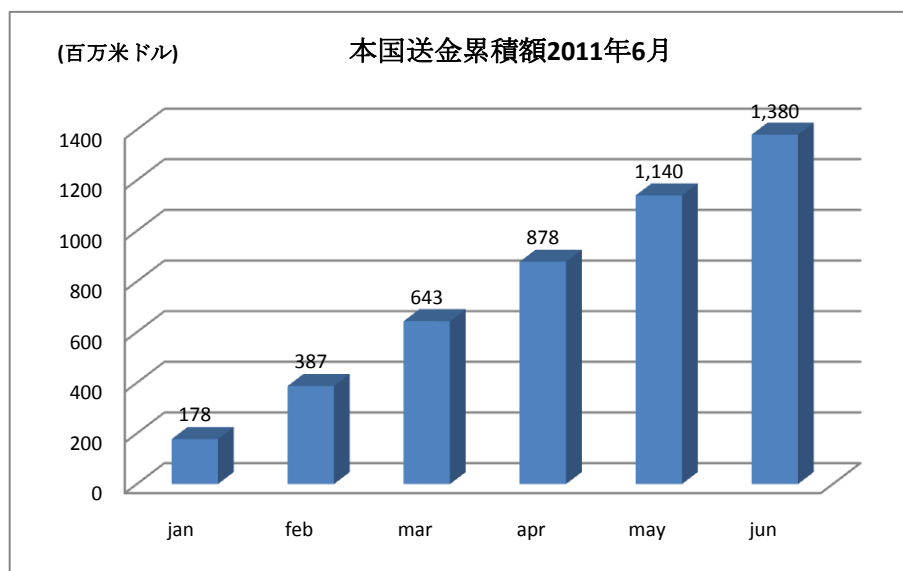
6 月期の輸出額は、2 億 5,950 万米ドル。6 月期の輸入額は、6 億 6,160 万米ドル。主に消費財、燃料を輸入。貿易赤字は、4 億 210 万米ドル（前年同期比 46.81%増）

これにより 2011 年 1-6 月期は輸出額 15 億 7,700 万米ドル、輸入額 37 億 600 万米ドル、貿易赤字 21 億 2,900 万米ドル（前年同期比 9.0%増）となった。



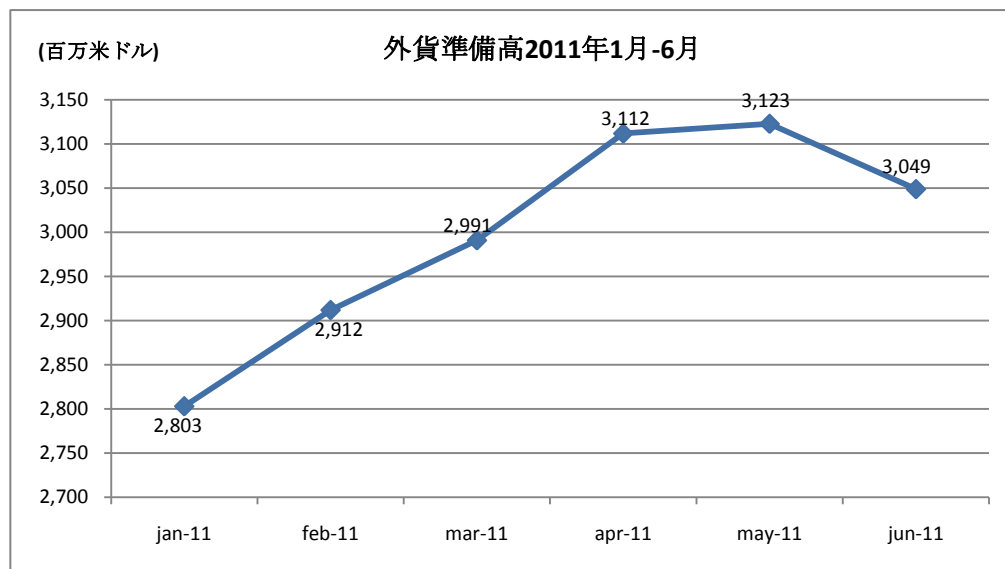
4. 本国送金

5 月期の本国送金額は 2 億 6,150 万米ドル、6 月期は 2 億 4,010 万米ドル。1-6 月期の本国送金累積額は、13 億 8,000 万米ドル（前年同期比 11.4%増）。



5. 外貨準備高

2011年5月の外貨準備高は31億2,300万米ドルとなったが、6月は30億4,900万米ドルへ減少した。輸出の増加、本国送金額の増加、外国直接投資の増加、及び国際機関による援助融資が外貨準備高増加に寄与する一方で、論議を呼んだ税制改革の法制化、政府と民間の絶えず続く対立が資本逃避を引き起こし外貨準備高を減少させた。



6. 銀行流動性

6月期のレンピラによる流動性資金総額は、米ドル換算で28億3,000万米ドル、外貨による流動性資金総額は11億8,000万米ドルであった。

